



循環器科 連載
(全3回)

循環器科部長

西堀 祥晴

にしほり よしはる

(日本心血管インターベンション治療学会指導医)



第3回『心臓カテーテル・アジアン・レポート～タイ・バンコク編～』



タイでのカテーテル治療
光藤先生、筆者、現地のドクター達 (右から)

昨年末、心臓カテーテルの技術指導のため、東南アジアのタイに行ってきました。詳細を云いますと、タイの循環器ドクターから日本のある高名なドクターにカテーテル治療の技術指導の要請があり、その際のアシスタントとして私をご指名を頂き、同行させて頂いたという訳でした。その高名なドクターとは、倉敷中央病院副院長兼心臓病センター長の光藤和明先生です。光藤先生は、心臓カテーテルにおける日本のパイオニアの一人で、カテーテル治療の中で最も困難な症例とされるCTO（冠動脈の完全閉塞病変）治療の世界的なエキスパートです。台湾の前総統、李登輝氏にカテーテル治療を行ったことでも知られ、先生のもとには常に世界中から患者さんが集まり、またその技術を習得するため多くのドクターがやってきます（私もその一人でした）。技術指導の要請は多く、先生は年中、東

奔西走されています。医療ツーリズムという言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。医療ツーリズムとは、医療を受ける目的で他の国に渡航することで、従来は新興国の裕福な患者さんが先進国に渡航することをさしていましたが、最近では先進国の患者さんが医療費の低い新興国で医療を受けることも多くなり、タイ政府は外貨獲得のためこれに積極的です。建物や機器などのハードだけでなく、医療技術や待遇といったソフトの面でも最高レベルのものが要求されるため、タイのドクターはみな礼儀正しく勉強熱心です。一方、タイは皆保険制度ではないため、患者さんの各々の懐具合（経済力）に合わせて、使い捨ての医療器具を再滅菌して用いたり、正規品ではなくコピー品が使用されたりもします。しかし、日本で話題になっている「デバイス・ラグ」や「ドラッグ・ラグ」（既に海外では広く使用されているが、日本では未承認のため、使用できない医療器具や薬剤がある）といった問題は少なく（カテーテル治療の分野ではほぼ無し）、本当に医療のピンとキリだけが混在している国だと思えます。

今回のタイ出張で、また光藤先生からカテーテル治療に関するたくさんのお話を直々に教えて頂きました。こうして学んだことを、当院でのカテーテル治療に活かし、地域の患者さんに少しでも貢献できればと思っております。この連載は、今回が最終回となりますが、今後とも、循環器科・心臓血管センターをよろしく願います。



5時間にも及んだ症例の後で
チェラロンゴン大学病院のワザン先生、
光藤先生、筆者 (右から)

日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設の認定を受けました。

川崎病院循環器科は9月27日に一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会の研修関連施設認定を受けました。（認定施設は神戸市内でも数件のみです。）

当院では今後も認定指導医である西堀循環器科部長を中心に心血管疾患患者や開業医の先生方の診療に貢献する為、安全かつ有効なカテーテル治療の実践と診断治療技術の向上を目指して参ります。今後とも宜しくお願い致します。



神経内科外来が 始まりました!!!

【外来日】
毎週**金曜日**
午前

前号でも告知しましたように1月7日(金)より神経内科の診療が始まっております。脳血管障害、パーキンソン病、認知症、神経変性疾患などの診療にあっております。

予告

第4回 湊川生活習慣病 カンファレンス のご案内

日時 平成23年4月28日(木)
19:00 ~

会場 ホテルオークラ神戸

特別公演

「糖尿病の臨床(仮題)」

講師: 大阪医科大学 第1内科
教授 花房 俊昭 氏

地域の先生方と川崎病院との病診連携の勉強会です。
みなさまのご参加をお待ちしております。

専門特殊外来担当医表

専門特殊外来は予約が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)	
内科	午前	【糖尿病外来】 市原 紀久雄	【糖尿病外来】 大塚 章人	【脳神経外来】 篠山 隆司	【糖尿病外来】 大塚 章人	【腫瘍外来】 向原 徹	【神経内科外来】 津田 健吉
	午後	【呼吸器外来】 石川 結美子	【腎外来】 粕本 博臣	【呼吸器外来】 富田 菜々子	【禁煙外来】 中村(1・3・5)/久保(2・4)	【血液外来】 飯田 正人
循環器科	午後	【ペースメーカー外来】 (第1、第3水曜のみ)	
外科	午後	【乳腺外来】 13:30~14:30	【肛門外来】 14:00~	【乳腺外来】 13:30~14:30	【ストマ外来】 14:00~	
整形外科	午前	【スポーツ外来】 戸祭 正喜	
耳鼻咽喉科	午後	【補聴器外来】 要外来受診 第1,第3,第5	

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

注) 学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	糖尿病	市原 紀久雄(金曜 午前) 大塚 章人(月曜 午前)	消化器科	悪性疾患(肝癌、胆管癌等)により 黄疸が出た時のステント減黄術	全医師が対応致します
	消化器一般	多田 秀敏(火曜 午前/金曜 午前)		消化器癌の早期発見と内視鏡治療	
	肥満、高脂血症、内分泌 血液	中村 正(月曜 午前/水曜 午前)	循環器科	閉塞性動脈硬化症 狭心症	全医師が対応致します
	腎	粕本 博臣(水曜 午前) 成山 真一(月曜 午前)	整形外科	小児全般 手全般 スポーツ障害全般	戸祭 正喜 (月曜 午前/金曜 午前)
耳鼻 咽喉科	睡眠時無呼吸症候群	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) 土曜日は第3・5のみ	形成外科	顔面外傷・顔面骨折 四肢外傷	
	中耳炎		歯科 口腔外科	感染症 腫瘍(悪性、良性) 顎骨骨折 インプラントおよび インプラントのための骨再生	全医師が対応致します
	アレルギー性鼻炎		
	副鼻腔炎		
	扁桃炎		
	声帯ポリープ		
突発性難聴			
顔面神経麻痺			
眼科	涙道手術	松場 真弓(火・水・金 午前)

ご予約は地域医療連携室まで電話
またはFAXにてお申し込み下さい。

● 地域医療連携室 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297

新棟を建設致します

川崎病院は昭和11年の開設以来75年に渡り地域のみならずみなさまの健康に資するため、日々の診療に誠心誠意あたって参りました。今後も質の高い医療を提供し地域に貢献できるように、この度、下記のとおり新棟を建設する運びとなりました。病床数や外来時間・科目などは工事期間中も完成後ともに現在と変わることなく診療を行ってまいります。川崎病院は新棟の建設により今後も地域医療の充実を図って参る所存です。今後とも宜しく申し上げます。



新棟(左側の病棟)イメージ

新棟建設 スケジュール

2010年12月 ~ 2011年10月 機械棟建設、西館解体
2011年10月 ~ 2012年12月 新棟建設
2012年12月 ~ 2013年10月 南館改修、北館本館解体、周辺整備工事